

平成27年度 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型) 実績報告書

担当課	教育委員会事務局
交付対象事業の名称	読書を通じた子育て支援事業

(単位:円)

事業主体名称	事業内容	計画額	実績額
浪江町	①ブックスタート 平成27年4月1日以降に生まれたお子さんを対象に、赤ちゃん訪問時等に絵本をプレゼントした(計83人分)。 ②読み聞かせサロン 未就学児とその保護者を対象に、児童図書研究グループによる読み聞かせサロンを開催する。 上記事業により、絵本をきっかけに親子の触れあう機会を作り、育児力の向上を図る。	176,000	124,326
事業経費内訳			過不足額
ブックスタートパック県外発送代 @360円×60件	21,600		51,674
アンケート返信用はがき代 @52円×100枚	5,200		
アンケート返信用はがき発送代 ブックスタートパック 120セット	6,806 90,720		
計		124,326	

本事業における重要業績評価指標(KPI)					
指標		指標値	単位	目標年月	実績値
指標①	町の子育て支援への取組みに対する満足度	70	%	H28.3	61
指標②					
指標③					
事業効果	③本事業は地方創生に効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなどの場合に選択)				
理由	アンケートを実施し、半数以上の保護者から満足しているとの回答が得られたため。				

外部有識者からの評価	
事業の評価	どちらともいえない(総合戦略のKPI達成に有効であったかどうか)
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ブックスタート」は本への親近感醸成とともに親子間のふれあい増大が図れると思う。また、「読み聞かせサロン」の創設は母子のきずなの再認識と育児力が向上する効果は認められると判断される。ほかに、「子育てに関して父母が求めているのは何か」のアンケート調査等により今後の施策を企画立案と実行に生かしていけば…と考える。</li> <li>・事業そのものは有効であると考えますが、今の状況が続く限り、この子供たちが実際に帰還するでしょうか。それよりもどうしたら子供たちが帰還できるのかを先決に考えるべきで、放射能線量減少とブランドの安定のための施策が必要である。</li> </ul>

事業の今後について	
今後の方針	②事業内容の見直し(改善)を行う(または行った)
理由	第2子以降の出生時に絵本が重複しないよう年度ごとにプレゼントする絵本を変更することで、事業内容の充実を図った。また、アンケートの項目の見直しを行い、効果的な子育て支援の施策立案に活かしていく。